

【 議 事 録 】(概要)

実施日時 令和2年8月3日(月) 18:30～20:30

会議名	越谷市総合振興計画審議会 都市基盤整備部会 第1回会議	会場	越谷市役所本庁舎5階 第2委員会室
件名/議題	【越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会 第1回会議】 1 開会 2 議事 第5次越谷市総合振興計画基本計画(素案)について 3 その他 4 閉会	資料:(<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)	
出席者	<委員>(8人) [2号委員] 渡辺明子委員、会田雄一委員、浅見昭一委員、久保田和夫委員 [3号委員] 阿部利幸委員、岡田弘委員、藤田融委員 [4号委員] 中村英夫委員 <事務局>(3人) 市長公室政策課:戸張調整幹、須谷主事 策定業務支援者:ランドブレイン株式会社(1人) <職員>(13人) 五十嵐環境政策課長、岩永観光課長、大徳道路総務課長、厚沢道路建設課長、 湊谷治水課長、松尾下水道経営課長、岩本下水道事業課長、小池維持管理課長、 田中都市計画課長、牟田市街地整備課長、富田公園緑地課長、山口開発指導課長、 平光建築住宅課長 <傍聴者>(0人)		
欠席者	なし		

越谷市総合振興計画審議会 都市基盤整備部会 第1回会議 会議録概要

<越谷市総合振興計画審議会 都市基盤整備部会 第1回会議>

1 開会

政策課戸張調整幹の司会により越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会 第1回会議を開会

第5次越谷市総合振興計画基本構想（素案）答申について、事務局から報告。

中村部会長より開会のあいさつ

2 議事

・傍聴者の確認（傍聴者なし）

(1) 第5次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）について

・事務局から、分野別計画・大綱3について説明を行った。

・部会長より、審議の進め方について、大項目ごとに進める旨委員に確認し了承を得た。

1) 大項目3-1について

(部会長) ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等がございましたらお願いします。

(委員) めざす姿（5年後の状態）について現状値と目標値とありますが、目標値が5年後の姿という判断でよろしいか。

(事務局) ご指摘のとおり、63ページは5年後の状態を想定しているものであり、さらに隣にある達成指標については「めざす姿」である5年後の状況の数値を示している。

(委員) 「めざす姿」については、定住意向が高まるかどうかだと思うが、64ページにある「住み続けたいですか」という質問に対して、市民の立場で言えば「はい」「いいえ」では答えにくいと思う。「住み続けたいか」という言葉よりも「楽しく過ごせる」などに表現を変えたほうがよいのではないか。

(委員) 今のご意見はごもっともだと思う。例えば若い夫婦などが越谷に来た目的は通勤圏内だからとかではなく、子育てに良いなどの理由だと思う。「あなたは現在のところに住み続けたいか」という質問内容はなんだか全体を聞いている感じで、ずれているのではないかと思う。

(委員) 越谷市の人口が増加している中で、元々の旧住民、新たに家を持って住んできた人、借家だけど新しく住もうと来た人…様々な人がいて、祭りや選挙も来る人と来ない人の差がはっきりしている。よって越谷市の住民に対し、周りのことを考えて動いてくれないとがっかりしており「誇りを持って住んでいく」ということにあまり良いイメージを持ってない。人口が増えても、新しい住民の自治会の加入率も低い。愛着をもって生活できるような内容を入れたほうが良いのではないか。そういった市民などのデータは事務局で持っていないか。

(都市計画課長) 愛着や誇りがあれば定着していくのではないかというご意見だと思う。105ページ106ページの大綱5などで越谷に愛着があるかなどのシビックプライドについての世論調査はしているため、その部分は数字としてデータを持っている。それがどういった人なのかという細かいデータは持っていないが、これはひとつの参考データになると思う。

(委員) これまで出た意見はある意味もっともだと思うし、これも大変よくできている計画書である。愛着となると各地域で名所、旧跡といった固有名詞があり、越谷市の場合は

レイクタウンであり、外部の方もそういうイメージを持っている。3-1～3-5は文章的には素晴らしいが、一般論ではない内容を所々に入れる、例えば66ページの景観の部分で大相模調節池や能楽堂などの資源があるが名称が分かりにくい。だから、愛称を募って市民主体などの取り組みとするなどしてはどうか。

- (委員) 住みやすいまちだと思っている。子どもたちの定着率も割とよく、せんげん台の小学校の卒業生をみても、意外と近場に友達がたくさんいる。親が近くについて同居しないまでも住んでいる人が結構いる。その辺をもう少し詳細に調べてみると、住みやすさをもっとわかるのではないか。それでもお祭りとかには出て行かないのだが、遠距離通勤でも単身赴任して頑張っているご家庭とか、皆どこかの点では住みやすさを感じているのだと思う。(せんげん台エリアは)10年以上前から住みやすいという話があるので、これが越谷全体に広がると良いと思う。
- (委員) 今の意見と同じようなことを感じている。私は生まれてからずっと越谷市にいるが、最後まで越谷にいたいと思う。また先日新しく家を買って越谷市に移住してきた近所の方々と話をしたときに、始発が北越谷にあってよいが、これといったものがないということであったので少しショックを受けた。よって昔から住んでいる方と新しく住まれた方によっても定住意向が違い、新しく住まれる方がどう考えているかが大事で、そのあたりをもう少し深堀していければいいと思う。
- (委員) 人口は流動するので、そういう人たちがどこに引っかかるかが問題。3-1の1「地域特性に応じた土地利用の推進」において、近隣市と比べて獨協病院、大きな病院が市の中核にあることは大きなセールスポイントである。三郷市や他の都市も誘致の手をあげているが、越谷市に留まっている。そういった他と違うものをうまく活用していくことがとても大事だと思う。新しく、外に対して見えやすいものとしてレイクタウンがあってディズニーランドの来訪者よりも多く、日本のモデルにもされている。大きな大学病院もあって電車の便も良い。そういった意味で、サンシティの整備も急がないといけない。サンシティの整備のために何をやる必要があるのかを具体的に記載しないと、私が着任した14年前と全く同じ状態のままである。埼玉県が「跳んで埼玉」で有名になったのではなく、越谷市があったから有名になったのだねとなれたらいい。優先順位が重要であり、持っている資源をアピールしていくといいのではないかと思う。
- (委員) 3-1の2で「サンシティの整備」とだけしか書いていないが、今は再開発の方向で進んでいて、あと数年後で建て替えるという計画もオープンになっているので、そのようなことを明記しないとわからない。指数も目標値も掲げないとわからない。また東武鉄道に新越谷に特急をとめてほしいと陳情しているが、なかなかいい返事がもらえない。なぜかという東武鉄道は北千住と春日部市に停めているが、もし新越谷に停めればアーバンラインの乗降客がとられるという話があるから。今はホテルもない状況なので、イオンの入っているビルを建て替えることで、ホテルを東武に建ててもらい、東武も特急をとめる方向でできないかといういろいろ手をつくしている。そういったことも含めてかたちとして表現したほうが良いのではないかと思う。
- (委員) 今の事務局の説明で、今後はいったん事務局でまとめ、次回また答申案が出てくるとのことだったが、その答申を変えることはできるのか。これまでの話し合いで、全ての人からの意見が十分に出ていないと思う。議論し尽くしたとは到底言えない。今時間がないからということだが、後々また議論を戻せるのか。もし変えられないのであれば議論の場ではあるが「時間がないので、あまり意見を言わなくてもいいかな」という消極的な姿勢で会議に参加することになってしまう。せっかく集まって参加しているのに、もっと深く話し合うべきではないか。前2回の序章までのところは市で出してもらったものとはほぼ変わりなく進んでいったという印象である。

- (部会長) 次回出す答申案文のたたき台は当然、皆さんのご意見を反映して修正するつもりだし、答申案文を出すためにどうするか、たたいて修正することが次回の議論だと考えている。
- (委員) 「めざす姿」の何となくのコンセンサスも全くとれていない。3-1についても「めざす姿」がずれているのに、3-2以降の議論をするのはどうなのかと感ずる。例えば先ほど定住意向の議論があったが、その前の部分の「生活の質をどう高くするか」という部分がないとおぼろげであり、次回出てくるものもこのままなのではないかと想定される。そうするとこれまでの30分強の議論の時間に何の意味があったのかと思ってしまう。
- (部会長) 今の「生活の質」の部分への突っ込みはまだ甘いというご意見を踏まえ、答申の中で少し問題提起をして次回提示したいと思う。本日時間がなく発言できなかったけれど、どうしても伝えたい部分は明後日くらいまでにFAXやメールでお伝えいただければと思う。

2) 大項目 3-2 について

- (部会長) 続いて3-2「地域を支える道路・公共交通をつくる」に移りたいと思います。
- (委員) 大綱3に「都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり」と書いており、第4次と変わっているのは「集約と連携」が追加されていることである。その上で地域を支える道路はどんな役割になるのか、現状のままいくのか。越谷市はベッドタウンなので、日中市内で過ごす人々のQOL(クオリティオブライフ：生活の質)を担保する機能があまりないように思われるので、道路や公共交通の側面で何かできないかと考えている。
- (部会長) 今のご意見は、鉄道についても移動という意味と、QOLの側面で駅周辺のまちづくりといった意味と、2つの側面での検討が必要とのことだと思う。
- (委員) 67ページの現状で「慢性的な交通渋滞」と書いているが、ここでもレイクタウンの問題が出てくると思う。多くの市民はレイクタウンが都市景観大賞ととっていることを知らない。都市景観大賞のコンセプトは都市空間と自然環境がマッチングしていること。いくつかの拠点が必要、公共交通網の形成を目指すという中で、レイクタウンにも「都市景観大賞を取った」という修飾語を入れて欲しい。さらにレイクタウン駅からのアクセスにある狭隘部を解消し、路線バス等による公共交通のアクセスを確保するなどの文言、夢と希望の実現に向けた内容を計画書に記載してほしい。
- (委員) 68ページの課題で、2つの項目を付け加えていただきたい。1つは安全という観点で、特に梅林公園の部分など「事故の多い道路の整備・補修」を付け加えていただきたい。信号は難しくても、せめて段差をつけてスピードを落とすなどの対応はしてほしいと考える。もう1つは「電灯による明るい道路づくり」をあげていただきたい。10年以上前のニュースになるが、5分も歩けば真っ暗で、自転車の窃盗被害なども多いということもあり、今もあまり変わっていないと思うので課題として取り上げてほしい。
- (委員) 322「安全性の高い道路空間の維持」とあるが、歩道がない。私の妻は車いすユーザーでもあるので、道路を考えると車のことだけではなく、ご自身が車いすに乗った時に歩ける道かどうかを検証して道路を造ってほしい。あと、電柱の位置がおかしい。電柱は基本敷地内に入っているもので、そうすると歩道は狭くならないはずである。市役所前の広い道路は通ることができるが、1つ対面に入ると全く違うので、車いすユーザーに対して優しい道路を造るという文言を入れてもらえると有り難い。
- (委員) 今の話とつながるが、先日出た学審議会でも「子どもたちをどのように安全に学校に行かせるか」という問題が必ず出るので、ある地区に限らず、市全域の問題だと思う。歩いて40分ぐらいかかるところから通っている地域もあって、近い道を通りたいとい

う気持ちもあるから、道路の整備という部分で「通学路の安全」という視点を考えてくれると嬉しい。学審議会で言っても「担当が違う」という話をされてしまう。それからもう1点、大袋駅の東口だけがまだ開発されていない。安全面からも不便な地域になっている。

3) 大項目3-3について

(部会長) 続いて3-3「水と緑でつながるやすらぎのある空間をつくる」に移らせていただく。

(委員) 72ページの上の表の「市民団体数」とは公園緑地課と話をしている団体など、どこまで含むのか。

(公園緑地課長) いろいろな団体があるが、自治会が中心となって公園管理をしてもらっている団体が多い。3名以上の団体で市に登録して管理をやっていただき、その際必要な消耗品を市から支給する制度である。

(委員) 72ページ目の「市民一人当たりの都市公園面積」の現状値と目標値とあるが、今後人口減少していく中で、目標値については公園を増やさなくても達成されると思う。その上でめざすべき姿が公園を増やすことなのか、それとも今のまま維持していくのか、がもう少し具体的に見えるといい。

(委員) 緑化ということで、神戸に比べると、上を切ってしまうので街路樹の背が低い。神戸では剪定せずに伸ばすし落葉樹である。落葉は多いが、夏は木陰になり、地域も受益を得ているので、自分たちで掃除をしている。街路樹も含めた緑の整備をもう少しうたってほしい。

(委員) 生まれて住んでいる中で自然に健康になっていく街になると良い。そのためには、例えばどこへでもスムーズな移動と言うことではなく、歩けることが大切である。歩く歩数が多いと心身ともに健康になる。そうすると歩くところはアスファルトばかりなので、市街地にももっと緑があるとよい。努力目標でもよいので、小さな住宅地にも緑を多くする、デッドスペースに植林するなどすれば市街地でも多くなるのではないか。そうすると、街中に歩いていこうと思える、水と緑でつながる、街中と公園という括りの分けでなく、もっとミックスされていくような、まちのどこに行っても緑があるという風になると思う。さらに「水と緑と太陽」とあるが、越谷市の太陽は暑すぎる。せっかくの太陽を活かすためにも、緑を増やして木陰をつくるなどすることが大切だと思う。初代大塚市長も田園都市論ということを書いており、日中暮らすことを想定した最初の思想としてあると思う。めざす姿にどう入れ込むかは難しいが、越谷で日中過ごす上で水と緑でどういうことが大切なのかを考えられるといいと思う。

(委員) 332の「誰もが利用しやすく安全な公園をつくる」という部分で、大袋に「泥んこパーク」という子どもたちが何にもないところで泥んこ遊びをする公園があるが、日影がない。親御さんたちがテントをもってきて遊んでいる。できればそういう子どもたちが多く遊ぶ場所に木陰になる木があるとよい。

(委員) 331「身近な緑を守り育てる」のところで「保存・樹林・樹木地区の指定箇所数」は現状ゼロ、目標値としては9か所と記載があり、これは私(民間)の土地を指定していくということかと思うが、そのための補償などはあるのか。

(公園緑地課長) おっしゃる通り、民地の樹木や樹林が対象である。昔からある神社なども含まれるが、それらを保存してもらおう場所として(地主等に対して)指定を行い、保存に対する費用を支援するなどを想定している。細かい仕組みはこれから検討し、5年後には9か所ぐらい指定出来ればと考えている。

(委員) 私が心配なのは、地主によっては相続の問題も出てくるのではないか。その辺まで考えてあげないとうまく存続しないと危惧する。

(委員) 私も屋敷森を手放したうちの一人であるが、市の補助などの話は今日初めて聞いた。

市がそこまで責任を負ってくれるかと言ったらまず無理ではないかと思う。周りの人は屋敷森を見ていいなあと思うが、持ち主は本当に大変である。その辺のズレはあると思う。

(委員) 74ページに「元荒川緑道進捗率」とあるが「元荒川」はどこからどこまでを想定しているのか。梅まつりの際に歩いて来る方はガタガタで歩けないと言っていた場所なども全てキレイに整備するということなのか。

(公園緑地課長) 計画区間は越谷の端から端までということになるが、国や県との兼ね合いもあり、西大袋の区画整理をやっている部分など、区間によっては出来ない部分もある。

4) 大項目 3-4 について

(部会長) 続いて3-4「安全で良好な水環境をつくる」に移りたいと思う。

(委員) 異常、非常といった線状降水帯というのが毎年発生している状況。越谷の場合も利根川決壊を想定した浸水マップを作成していると思うが、災害に備えるというよりも強烈的な形で、治水対策について入れたほうがよいのではないか。

(委員) 今の話の続きになるが、日本の一般的な雨量を想定しては間に合わないという中で、数値的にどう判断して動いているのか。

(治水課長) 越谷市の公共下水道整備では時間50mm、場所によっては時間55mmとい計画で整備している。河川については、総合治水計画で1/10、10年に一度の雨ということで24時間雨量217mmという計画で実施している。国の方では流域治水というプロジェクトを新たにやっており、時間50mmに変数をかけて更に上げるというような計画の動きもあるようだ。

5) 大項目 3-5 について

(部会長) 続いて3-5「安心して住むことができる住宅環境をつくる」に移りたいと思います。

(委員) 空き家について、地域によっては一戸建てで子どもが巣立って老老生活になった初期の人口増加の時期に建てられた住宅地が1地区に8~10棟ある。しだいに片方が亡くなって、でも子供世代は相続しないという状況。更地にすると管理は楽だけど税金が上がるから、子どもは欲しがらないでそのまま放っておかれて、地域の人は少し不安だという状況。今後の高齢化の状況を見て、市として何かできないのか。相続した人からある程度の値段で譲り受けるなどして、ある一面に独り暮らしになった高齢者を集めて安心した場所づくりをするなど、空き家対策を通して取り組んでいけないか。

(委員) 2年前に空き家対策のアンケートを出して空き家件数が算出され各自治会にも結果が報告されて、今いろいろな取り組みをしていると思うが、その後、空き家件数の数字がどうなっているのか、ここに是正件数177件とある数字なのか、教えてほしい。

(建築住宅課長) 空き家相談件数701件というのは管理不全な空き家である。管理不全が増えれば空き家も増えるというとはそうではなく、予防が大切と考えている。相続セミナーなども実施し、今後いかに管理不全な空き家を増やさないか、空き家予備軍の方への啓発をしていきたいと考えている。また利活用という面では宅建組合との協定も締結したので、そのあたりの情報提供もしていきたいと考えている。

(委員) 安心して住むことができる住宅環境というのは、住居地域をどのあたりにしようかという議論ではなく、1つの住宅をどう建てるかということなのか。

(建築住宅課長) 地域の指定ではなく、省エネ住宅など個別の環境に配慮した住宅を想定している。

(委員) だとすると、大綱3の「集約と連携による」に関しては、これまでの3-1から3-5の議論においてあまり出てきていないように思う。第4次と違って「集約」という言葉を入れているのをどう捉えればいいのか、いわゆるスマートシティのようなものを市として目指しているのかなど教えて欲しい。

(都市計画課長) 大綱3の都市基盤という中でのタイトル出しをしたのだが、国でいうと「コンパクトシティ」と言われるが、そうすると一極集中という誤解を生むかもしれないと考えた。よって3-1から3-5といろいろな施策をしていくものの、今後の人口減少社会を鑑みたときに全体としてはある程度「集約」「連携」ということが必要になるという意味で標題に用いた。

(委員) その場合、道路の部分などで車が入れない地域などを作るなどといったことは考えられるのか。「歩ける街」を目指して駅前にはパークライド的にバスなどの公共交通のみが入れるなど。一番考えたいのは人が賑わうサンシティあたりだが、どうなのか。

(都市計画課長) サンシティの整備にあたっては、3月に基本構想を公表した。その中では、サンシティに何が必要かということに加えて、駅周辺の都市基盤やまちづくりの課題を考えており、交通アクセスや道路の安全性のことも考えている。具体的にどこの道か、どんな道にするかなどはこれから検討するが、そういう視点は持っている。

(委員) 各委員のさまざまな意見を拝聴していて、例えば「道路を整備する」だけではなく、それによって「バリアフリー」になって「健康」になるなど多面的な影響があるはずである。書き方が難しいし、今から修正するのも大変だと思うが、そういった部分をどこか1つでも2つでも、単独の取組みだけではなく、その他の分野と関連する取組みの記載があってもよいのではないか。

(委員) 住みよいまちになった方がよいが、働くことも含めて住みよくなってほしい。都市基盤をつくるときに、市がどのようにインカムをするのか、どこにどんな都市機能があったらいいのか、産業や就労機会を生むエリアはどこなのか、お金が入る部分の計画がないようなので、その点もあればよいと思った。

(部会長) それでは、最後に、皆さまから、何かございますか。無ければ本日の議事は、以上であります。それでは、事務局にお返しいたします。皆さま、ご協力ありがとうございました。

3 その他

事務局から次回の審議会について説明を行った。

4 閉会

会田副部会長より閉会のあいさつ

政策課戸張調整幹の司会により越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会第1回会議を閉会

以上

この会議録は、会議内容と相違ないことをここに認め署名する。

令和2年8月26日

越谷市総合振興計画審議会 都市基盤整備部会

署名委員

浅見 昭一
阿部 利幸
岡田 弘